

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	胎児超音波における腸蠕動のパターン化分類
研究責任者	聖隷浜松病院産婦人科 精きぐな
研究実施体制	主研究施設：聖隷浜松病院産婦人科 副研究施設：浜松医科大学光医学総合研究所生体計測工学分野
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2025 年 10 月 31 日
対象者	聖隷浜松病院産科の外来に通院しておいでの方、入院した方のなかで、妊娠 30 週以降の方
研究の意義・目的	赤ちゃんの腸の病気をお腹の中にいる間に早期診断するため、赤ちゃんの腸の動きを超音波で観察します。病気によって赤ちゃんの腸の動きのパターンが違うこと分ければ、赤ちゃんがもし腸の病気を持っても早期に診断することができ、出生後の治療にスムーズにつなげることができます。
研究の方法	妊婦健診、あるいは入院中の赤ちゃんのエコーを行った時、赤ちゃんの腸の動きや腸の中の便の動きを動画で撮像します。その動画データを画像解析し、赤ちゃんの腸や便の動きを分析します。正常の赤ちゃんの腸・便の動きと、生まれつき腸にご病気をお持ちの赤ちゃんの腸・便の動きを比較し、どのような特徴があるのかを解析します。 超音波の画像には皆様の診療 ID（氏名は非表示）が表示されていますが、個人情報保護の観点から、画像を取り出す際には ID を消し、研究に使用する番号を付与して使用するため、皆様の個人情報が特定される心配はありません。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 産婦人科 （氏名）精 きぐな TEL:053-474-2222(代表) 産科外来 9:00～17:00 平日